

生誕百年記念

桂米朝



桂米朝 (1958年8月撮影)



100th
Anniversary
of birth

桂米朝 まつり

姫路市出身の落語家・三代目桂米朝（1925～2015）。戦後、消滅の危機にあった上方落語の復興に尽力し、全国にその魅力を広めた人物です。1996年に重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定、2009年には落語家で初めてとなる文化勲章を受章しました。

生誕100年、没後10年にあたる今年、「桂米朝まつり」と題した催しが、市内2カ所で開催されます。

特別展 「噺家の原点」 —100年のその先へ—

8月14日（木）から10日間にわたり、特別展が開かれます。展示を担当する県立考古博物館学芸員の中川 渉さん（米朝さんの三男）、米朝研究家の小澤絃司さんに聞きました。

—小澤さんは2010年に開催された文化勲章受章記念「桂米朝展」を担当されました。

小澤 「ふるさとでいちばんにやりたい」ということで、受章の翌年に「桂米朝写真・絵画展」を姫路文学館で開催しました。印象的だったのは、会期中に展示品がどんどん増えていったこと。来場された方々が「うちにこんなあるんやけど」と提供してくださった。市民のみなさんのご協力を得て、みんなで受章を祝う、そんな展覧会になりました。

—米朝さんも会場を訪れたと聞いています。

小澤 お弟子さんと一緒に、「うん、うん」とうなずきながらご覧になっていました。姫路の次に大阪、尼崎と続き、東京でも開催が決まり、もっと展示品が必要だと感じたことが、資料整理を始めるきっかけになりました。米朝さんのご自宅に膨大な資料があることは知っていましたので、整理役を申し出ると、米朝さんは「どこでも開けてください、なんでも見てください」と言ってくださいました。

—50年以上にわたり、米朝さんと交流がありました。

小澤 大学生になって寄席に通うようになり、「この人や！」と惚れ

込んだのが米朝さんです。手紙を送ったことがきっかけでお出会いすることができました。米朝さんは38歳、若い師匠でした。そのとき抱いた印象が、いまでもずっと続いているような気がします。資料を探していると、いまでも「それやったらここにあるで」「これはな、」と、声が聞こえてくるような気がします。

—中川さんは、2017年に開催された県立歴史博物館の特別展「人間国宝・桂米朝とその時代」を担当されました。

中川 県立考古博物館から歴史博物館への異動の内示を受けた直後に危篤の知らせがありました。葬儀が終わり、準備もそこそこ姫路へ来たとき、当時の藪田 貫館長から「お父さんの展覧会をしてほしい」と。

—展覧会のために異動なされたのだと思っていました。

中川 いえ、まったくの偶然です。展覧会がなければ、資料をさわることはなかったかもしれません。準備する中で初めてあんな資料、こんな資料があることを知り、小澤さんに教えてもらいながら、勉強しながら、一緒にやらせていただきました。

—担当学芸員でありながら、つい私情を挟んでしまった、という部分はありますか。

中川（即答して）全部です。全部、私情です。

小澤 ご家族でないと出せないものも多かったですね。わたしのほうが躊躇してしまって、「これ出してよろしいんでしょうか」と確認すると、「どうぞどうぞ」と。

中川 一門の方々から父を知らない方々まで、みなさんに満足してもらえる展示にしなければと。展示室は考古博物館の4倍以上の広さがありまして、みっともないことはできん、という気持ちでした。準備を進めながら、長男は落語家になった、僕は展示をする、そういう役割なんやな、と感じていました。

—今年2月には『桂米朝が遺した宝もの』が刊行されました。

小澤 米朝さんが遺した資料は、芸能界全体の資料です。解説さえあれば、その意義が伝わると思いましたので、朝日新聞夕刊のコラム連載を引き受けました。

中川 連載当時から、なんとか本にならんかなあと思っていたんです。

小澤 第一章の「物篇」は連載「米朝物がたり」をまとめたものです。第二章の「人篇」にはお弟子さんの寄稿や座談会、渉さんら兄弟3人の鼎談も収録されています。

—さて、今回の展示は。

小澤 タイトルに「原点」とありますから、落語愛好家だった「中川清」が、いかにして落語家「桂米朝」になったのか、その原点を探ってみたいと思っています。年代的には、姫路での少年時代から、22歳で四代目桂米團治に入門し「米朝」の名前をもらうまで、というあたりでしょうか。

中川 父の影響で落語が好きになって、落語全集を読んだり寄席文化研究家の正岡 容さんの本を読んだり。旧制姫路中学を卒業して上京し、たまたまその正岡さんのご自宅を見つけて、いきなり訪問しています。出入りするうちに弟子になり、「上方落語は存亡の危機。君、なんとかしなさい」と言われて。



「病牀日記」



7月1日のページには、この日演じた「蛸芝居」などの演目が記されています

小澤 研究者として期待されていたようですね。若い人が来てくれて、正岡さん、うれしかっただろうと思います。

——ところが19歳で召集されます。

小澤 1945年2月に入営するのですが、急性腎臓炎を発症し3月に入院、結核の疑いが出て療養所に転院。終戦の3日前に除隊されるまで療養生活が続きました。

中川 療養中に毎日つけていた「病牀日記」が2冊あります。今回初めて、まとめて取り上げる予定です。

小澤 米朝さんに「こんなありませんけど」と見せると、「そんなん出てきましたか」と言われました。忘れてはったんでしょね。「公開してええんですか」と尋ねると「嘘は書いてないからな」。いつも「わたしには戦争を語る資格はない」と言っておられた、その言葉がこの日記で裏付けられたように思います。

——「病牀日記」の中にも「原点」が？

小澤 わたしはこの日記の中に原点がすべて記されていると感じます。戦時中の病院、そこにいる誰もが生死のはざまにいるという特殊な環境で、なんと落語をやっているんですよ。

中川 それまでも友だち相手にやっていたとは思いますが、入院仲間を前に、上方落語の名作「立ち切れ線香」など35演目を披露しています。

小澤 わたしは、「落語家・桂米朝」は、このときにすでに始まっていたのではないかなと思うんです。演ずる楽しさはもちろんですが、聞いた人の感動が演じた自分に跳ね返ってくるという喜びを、身をもって知ったのでは、と思えるんです。

——改めて、展示を通して伝えたいことは。

中川 桂米朝になじみのない方にも、姫路出身で人間国宝になり文化勲章を受章した落語家がいたんですよ、ということを知ってもらいたいですね。

小澤 落語の登場人物の中には悪いことをする人も出てきますが、根底にあるのは「人間はええもんやなあ」ということです。最近は自分を主張するばかりの人が多くですが、人のなしを聞き、共感し、一緒に笑い、泣く、そういうことは、100年のその先も、忘れてはいかんことだと思うんです。米朝さんが感じた、演ずる側と聞く側が感動を共有するという喜びを、展示を通して感じていただければと思います。

生誕百年記念 桂米朝まつり

特別展「噺家の原点 —100年のその先へ—」

8月14日(土)～24日(日) 10:00～18:30(最終入場18:00)

※18日(月)休館

市民プラザ 特別展示室 無料

■スペシャルトークショー「米朝と私たち」

桂米團治さん、中川 涉さん、小澤絃司さんが、米朝さんとの思い出や展示内容について語ります。

8月14日(土) 14:00～

市民プラザ アートホール 無料

※8月3日(日)までに申込

問 姫路市文化国際課 079-221-2098



お申込みは
こちらから



『桂米朝が遺した宝もの』
(淡交社)



小澤絃司さん(左)と中川 涉さん

落語どんまい

11月には、米朝一門の総勢20名が出演する、まさに“落語三昧”な落語会が開催されます。



「桂米朝まつり」 開催によせて

桂米團治さん

落語家・桂米朝は、温故知新を実行した人です。本の虫で、漢文の知識も豊富で、さまざまな芸能に興味を持ち、埋もれかけている特異な名人芸に出逢えば世に広める努力をし、先輩諸氏に芸談を訊きまわり、死にそうな芸人を見つけたら行って心配しなくてもいいと慰め、肩書きを重んじず、お酒を愛し、ときに天邪鬼で、反戦論者。そういう人だったと私は思います。

米朝落語の魅力は、東京・大阪関係なく、全国のみなさんが「米朝さんの落語は分かりやすいわねえ」と言ってくださるところにあると思います。常に古いネタを推敲する努力を惜しまぬ人でした。

姫路では「姫路落語会」をはじめ多くの落語会に出演しましたが、いつも同級生が楽屋を訪ねて来られていました。「桂米朝と同一年やねん」というのが自慢になる……それほど、姫路にとって無くてはならぬ存在だったんですね。

今回の「落語どんまい」は米朝一門の直弟子・孫弟子・ひ孫弟子・玄孫弟子が登場します。当日は米朝の誕生日ですから、みなさん大いに笑って100歳を祝ってやっていただければ嬉しいかぎり。

桂米朝が他界して10年。その存在すら知らない若い人々も増えました。今回の「桂米朝まつり」を契機に、上方落語の復興に寄与し、東西の演芸界を通してただ一人、文化勲章の榮譽に輝いた桂米朝の人となりを知っていただき、その偉業を感じていただければ幸いです。

生誕百年記念 桂米朝まつり 落語どんまい

11月6日(土)

1回目 11:00 ～／桂二豆、桂吉の丞、桂紅雀、桂米平、桂南光

2回目 13:30 ～／桂天吾、桂小鯛、桂吉弥、桂八十八、桂千朝

3回目 16:00 ～／桂弥壺、桂米輝、桂米紫、桂米左、桂米二

4回目 18:30 ～／桂八十助、桂惣兵衛、桂よね吉、桂団朝、桂米團治
※いずれも出演順

姫路キャスパホール

各回2,500円(全席指定、完全入替制)

※友の会割引特典は対象外です。

一般発売日 8月7日(木) 財団友の会 8月5日(火)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

アクリエひめじ

大ホール

よしもとお笑いライブ
夏祭りスペシャル in ひめじ 2025
～爆笑漫才と吉本新喜劇が
姫路に大集合！

笑って残そう！夏の思い出

8月2日(土) 10:00～

5,000円(当日5,500円)

問 アクリエひめじ 079-263-8082

一日中笑って遊んで楽しもう
スペシャル！

よしもと こども大夏祭り
in アクリエひめじ

8月2日(土) 15:00～

一般4,000円、小学生以下2,000円
(当日各500円増)

■ こども大夏祭り

吉本芸人によるスペシャルミニステージのほか、
記念撮影や自由研究のブースが展示場に並び
ます。

8月2日(土) 10:00～18:00 無料

問 アクリエひめじ 079-263-8082

佐野元春

45TH ANNIVERSARY TOUR
MOTOHARU SANO AND
THE COYOTE BAND

8月3日(日) 18:00～

12,100円

(45周年Tシャツ付き指定席16,500円)

問 キョードーインフォメーション

0570-200-888

平櫛バレイ姫路 第30回発表会

第一部でバレエコンサートを、第二部では創作バ
レエ「みにくいあひるの子」を上演します。

8月17日(日) 13:00～16:00

無料(要整理券)

問 平櫛バレイ姫路 079-294-3171

小ホール

MonDieu hall concert vol.27

ジプシーの伝統音楽とアメリカのスウィングジャ
ズを融合したジプシージャズを演奏する「モン
デュー」が出演します。

8月16日(土) 14:00～

3,000円(当日3,500円)

問 mondieu_gypsyjazz@yahoo.co.jp

鍵盤とふらっと♪

ホールワンマンライブツアー2025

～姫路編～

8月17日(日) 15:00～

一般4,500円(当日5,000円)、大学・専門学生
2,000円、高校生以下1,000円

問 ナウウエストワン 075-252-5150

文化講座

問 アクリエひめじ 079-263-8082

日本近世絵画の読み方Ⅲ

「初期洋風画」

8月7日(土) 11:00～12:00

会議室402 500円 定員40名

講師／橋本寛子(神戸大学文学部非常勤講師)

城郭と歴史文化に親しむための

入門講座

8月7日(土) 14:00～15:30

会議室402 500円 定員40名

講師／堀田浩之(元県立歴史博物館職員)

舞台芸術鑑賞講座 vol.4

「江崎欽次朗&山中歩夢

～能とうぐひす、曼殊沙華～」

8月9日(土) 14:00～

小ホール 500円 定員150名

音楽よもやま話(なるほど！そうだったのか～

音楽の豆知識と楽に声が出せる方法)

8月10日(日) 14:00～15:00

スタジオ1 500円 定員80名

講師／井上敏典(声楽家)

能楽ちよいかじりⅢ

8月18日(日) 10:30～12:00

小ホール 500円 定員80名

講師／江崎欽次朗(ワキ方福王流能楽師)

音楽の愉しみⅣ

8月19日(火) 13:30～14:30

小ホール 500円 定員80名

講師／山中歩夢(元東京藝術大学非常勤講師)

邦楽に親しも

8月27日(水) 11:00～12:00

小ホール 500円 定員80名

講師／新福かな(箏曲家)

パルナソスホール

募集中

詳細は
パルナソスホール
ホームページで
ご確認ください



チェンバロ講座 課題曲ワークショップ

[アンサンブルクラス/

レパートリークラス] 聴講者

チェンバロ奏者で東京藝術大学教授の大家塚直哉
さんの指導で、課題曲のJ.S.バッハ:パルティータ
第4番 他をグループレッスン形式で掘り下げてい
きます。

8月23日(土) 16:55～

聴講料3,000円

※当日までに申込

バロックダンス講習会 受講生

湯浅宣子さんの指導で、17～18世紀にヨーロッ
パの宮廷で踊られたバロックダンスを学びます。

8月24日(日)

[クラス1] 13:00～14:15

基本ステップ/サラバンド・ガヴォット・ジグ

[クラス2] 14:30～15:45

基本ステップ/メヌエット

[クラス3] 16:00～17:15

メヌエット復習と舞踏譜

1クラス2,000円 定員各12名程度

※8月6日(水)までに申込

姫路キャスパホール

珠玉のモーツァルト

～ピアノ de クラシック～

「きらきら星変奏曲」や「トルコ行進曲付きソナ
タ」などの名曲を、演奏者によるお話付きでお届
けします。竹内恵美さん、村上ひろみさん、吉田
裕文さんの出演です。

8月2日(土) 14:00～15:50

一般1,500円、高校生以下1,000円

問 ～ピアノ de クラシック～

070-5654-4111(吉田)

クラシック音楽謎解きミステリー

音楽探偵バッハの事件録

「怪盗モーツァルトのたくらみ」



クラシック曲をテーマにした物語の中で提示さ
れる“謎”を、観客が探偵となって解き明かす！
クラシック音楽と演劇と謎解きをミックスした新
しいエンターテインメントです。

8月3日(日) 14:00～

一般2,000円、小学生以下1,000円(全席指定)

※残席わずか

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

第66回 兵庫県高等学校邦楽連盟

西播磨支部 演奏会

姫路市および西播磨地区の12校が出演し、日
頃の練習の成果を発表します。曲目は「琴姫のう
た」「和楽器のための三重奏曲」「夢の輪」他。

8月4日(日) 13:15～16:00 無料

問 兵庫県高等学校邦楽連盟西播磨支部

079-297-2753(市立姫路高校)

姫路楽器音楽教室発表会

8月11日(水) 10:30～16:30 無料

問 姫路楽器音楽教室 079-298-3822

神田香織 講談「はだしのゲン」 ～9歳の少年がみた 戦争と原爆の真実～

中沢啓治さんが自身の被爆体験をもとに描いた漫画「はだしのゲン」を講談で語ります。



8月12日(火) 18:30～20:00
一般4,000円、高校生以下2,000円
問 姫路労音 079-290-5522

リトルコンサート

8月24日(日) 13:00～16:30 無料
問 リトルコンサート 080-4020-2368

姫路市市民会館

令和7年度 第17弾 播磨の黒田武士ゼミ 第3講「黒田官兵衛と一柳家」

小野市立好古館副館長の粕谷修一さんが、黒田官兵衛の妹を妻に迎えた一柳直末と一柳家のその後について紹介します。

8月9日(土) 10:00～11:50
中ホール 500円(会員は無料)
問 播磨の黒田武士顕彰会事務局
090-8219-7933

映画『ぼくが生きてる、ふたつの世界』 姫路上映会

作家・エッセイストの五十嵐さんによる自伝的エッセイを映画化。耳がきこえない母ときこえる息子の物語です。

8月11日(祝) ①10:30～ ②13:30～
大ホール
一般1,200円(当日1,500円)、小・中・高生800円
問 姫路ろうあ協会 079-284-5242

市民ギャラリー

アートホール

サマーコンサート2025

深澤倫子さんのピアノとお話で綴る演奏会です。クラシック作品や現代作品を演奏するほか、朗読とピアノのコラボレーションも。

8月23日(土) 17:00～19:00 無料(要予約)
問 新しい風コンサート 080-3104-8323(深澤)

展示室(観覧無料)

いろえんぴつ誕生40周年記念 手づくり絵本作品展

個人の作品、グループ制作の大型絵本、絵本教室参加者の作品を展示します。

8月1日(金)～3日(日) 10:00～18:00
※初日は11:00～
第1展示室
問 手づくり絵本グループ いろえんぴつ
090-3920-5693(長森)

第28回 どんこの会展

8月6日(水)～10日(日) 10:00～17:00
第3展示室
問 どんこの会 090-8206-7863(荒川)

フォトストリート 第46回写真展

「フォトストリート」メンバー6名とゲスト4名による写真展。約500点を展示します。

8月13日(水)～17日(日) 10:00～18:00
第3・第4展示室
問 フォトストリート 078-782-1822(井上)

第51回 姫路市シニア作品展

60歳以上の市民による絵画や書、水墨画、彫刻、工芸などの作品約300点を展示します。

8月21日(木)～24日(日) 9:30～16:00
第1～第4展示室
問 姫路市高齢者政策課 079-221-2986

姫路YPC(読売写真クラブ) 第4回写真展

8月26日(火)～31日(日) 10:00～17:00
※初日は13:00～
第1展示室
問 姫路YPC(読売写真クラブ)
0790-22-6321(鍛冶)

第8回 丹の会 日本画展

8月26日(火)～31日(日) 10:00～17:00
※初日は13:00～
第3・第4展示室
問 丹の会 090-7768-9049(内海)

そのほか

朗読会「話題の本を読む」

小泉八雲ことラフカディオ・ハーンの怪奇文学作品集、小泉八雲コレクション『骨董・怪談』を朗読します。

8月23日(土) 13:30～15:00
姫路市立城内図書館 2階中会議室
無料
問 サークルさえずり
079-289-4887(木曜のみ)

秀都と源太のトキメキ寄席 その2

「動物にときめくっ!!」をテーマにした落語4席とトーク、抽選会も。

8月31日(日) 14:00～
西二階町七福座
2,000円
問 らくぐ屋さん天笑 080-4729-7376

書写の里・美術工芸館

079-267-0301 月曜休館

夏季特別展「夏休み子どもミュージアム ーアジアの布と楽しむ」

「GALLERYとーく」(姫路市)の大橋ひろ美さんがセレクトしたアジアの古布や衣装、「日本三大原始布」と呼ばれる「芭蕉布」「葛布」「科布」の帯や着物を、清水公照の作品など館蔵品とともに展示し、布の魅力に迫ります。



アカ族衣装(ラオス)

8月31日(日)まで
10:00～17:00

一般500円、高・大生300円、小・中生70円

ファッションショー「アジアの布を纏う」

ミャンマーやインド、タイなど、アジアの民族衣装のファッションショーです。一般公募のモデルが出演します。

8月24日(日) 13:00～15:00

要入館料

※モデル希望者は8月6日(木)までに申込。
定員20名(小学5年生以上)

郷土玩具室コーナー展示「少々推シ展」

担当者が推奨する郷土玩具約50点を、その「推シ」への熱意とともに紹介します。

11月30日(日)まで 10:00～17:00
一般500円、高・大生300円、小・中生70円

書写の里・美術工芸館

イラストコンクール

館内の作品や敷地内の風景を写生し応募します。9月に館内に展示するほか、優秀作品には賞金を贈呈。参加費は無料ですが、入館料が必要です。

応募期間:8月31日(日)まで

姫路文学館

079-293-8228 月曜休館

特別展「創刊50周年記念 花とゆめ展 in 姫路」

1974年創刊の少女

まんが雑誌『花とゆめ』(白泉社)の50周年を記念した展覧会

です。「ガラスの仮面」

「スケバン刑事」「パタリロ!」

「フルーツバスケット」

「花ざかりの君たちへ」

など数々の名作を生み出し、読者だけでなく社会にも影響を与えてきた

50年の歴史を、歴代作家74名の原画約200点を中心にとります。



©美内すずえ/白泉社

9月15日(日)まで 10:00～17:00

一般1,200円、高・大生700円、小・中生340円

ぶんがくかん おはなし会

0歳児から幼児を対象に、姫路文学館友の会ボランティアが絵本のよみきかせをします。

8月16日⑤ 11:00～11:20

無料 定員先着30名

第11回 藤原正彦エッセイコンクール

エッセイストとしても知られる、数学者・姫路文学館館長の藤原正彦さんが選考を務めるコンクールです。[中学生部門] [高校生部門] [一般部門]で作品を募集し、優秀作品を表彰します。400字詰原稿用紙5枚以内で、テーマは自由です。

応募期間: 9月18日(木)まで(必着)

見野の郷交流館

079-252-6659 月曜休館

平和資料展「収蔵品展」

8月17日⑤まで 9:00～17:00 無料

平和資料館

079-291-2525 月曜休館

非核平和展

広島・長崎の原爆被害状況を写真パネルで紹介するほか、平和を訴える児童・生徒のポスターや習字作品も展示します。

8月31日⑤まで 9:30～17:00 無料

埋蔵文化財センター

079-252-3950 月曜休館

企画展「TSUBOHORI

一発掘調査展2025一」

関ノ口遺跡、姫路城城下町跡などの発掘調査の中から主要な調査成果を選りすぐって紹介します。

8月31日⑤まで 10:00～17:00 無料

夏休み企画展「みるみるつながる

一れきしとわたしと一」

土器や遺跡、埋蔵文化財センターの仕事について体感します。

8月31日⑤まで 10:00～17:00 無料

展示解説

企画展と夏休み企画展のみどころを、専門職員が解説します。

8月23日⑤ ①10:30～ ②13:30～

体験学習 宮山古墳武人シリーズ①

衝角付冑

宮山古墳から出土した重要文化財の冑をモチーフに、厚紙などを使って精巧なミニチュアモデルを製作します。15歳以上対象です。

8月31日⑤ 10:00～12:00

1,000円 定員10名

※8月12日(火)までに申込(必着)

日本城郭研究センター

079-289-4877 月曜休館

パネル展

「姫路城昭和の三の丸復元とその後」

姫路城が「文化財」として保護の対象になった昭和初期。当時の復元計画について振り返るとともに、その後の三の丸復元に関する動向について紹介します。

8月31日⑤まで 10:00～17:00 無料

■展示解説

8月17日⑤ ①10:30～ ②14:30～

無料 定員先着各25名程度

兵庫県立歴史博物館

079-288-9011 月曜休館

特別展「描かれたお城と城下町

一築かれた城・理想の城・古城一」

実在の城から架空の城まで、さまざまな城が描かれた江戸時代。絵図や関連資料を通じて、それらが作成された背景にある江戸時代の社会について考えます。

8月31日⑤まで 10:00～17:00

一般1,200円、大学生950円、高校生以下無料

日本玩具博物館

079-232-4388 水曜休館

一般600円、高・大生400円、4歳以上200円

夏秋の特別展「日本の節句飾り

～正月の玩具と節句の人形飾り～」

正月と、上巳(3/3)、端午(5/5)、七夕(7/7)の節句を取り上げ、それぞれの行事を代表する人形や玩具を展示します。

10月19日⑤まで 10:00～17:00

ギャラリー ランズエンド

079-291-2208 水曜休館

月蛙×ウエダキョアキ 2人展

「CROSS SESSION」

ーアートとクラフトのあいだでー

月蛙さんが絵画や藍染服飾小物を、ウエダキョアキさんが絵画や陶器などを展示します。

8月23日⑤～9月7日⑤

13:00～18:00

無料

■作家によるトークイベント

8月24日⑤ 14:00～

無料

TOPICS

「ふれる」「つくる」「つなぐ」 ひめじアートシーズン

この秋、姫路市では、「ふれる」「つくる」「つなぐ」をコンセプトに、多様な文化芸術を体験できる機会を創出する「ひめじアートシーズン」を実施します。次代を担う若者がアートで夢を描く「プロと中高生とのコラボステージ」など、市民参加型のイベントを実施するほか、市内各所で開催されるさまざまな文化芸術イベントを通じて姫路の秋を盛り上げます。

※オープニングイベントなどの詳細は9月号に掲載します。

9月13日⑤～11月30日⑤

問 姫路市文化国際課 079-221-2098

募集中!

はじめてのバイオリン体験

バイオリンにはじめてふれる小学1年生～6年生を対象としたワークショップです。バイオリンの吉田侑記さん、笠原三佳さんが講師を務め、姫路市ジュニアオーケストラの団員がアシスタントを務めます。

10月4日⑤

①11:00～11:50 ②13:30～14:20

アクリエひめじ スタジオ1

無料 定員各8名程度

※8月4日(月)～9月7日(日)までに申込

問 姫路市文化国際交流財団 制作チーム

TEL 079-289-1108



◀ お申込みは
こちらから

スタッフのイチオシ！
PICK UP



チケットのお求めは
こちらから



シリーズ初！オルガンと金管楽器のコラボレーション オルガンシリーズ Vol.21

山田由希子×山本英助 デュオリサイタル

●今回は、2024年に松本市音楽文化ホールのホールオルガニストに就任された山田由希子さんをお迎えします。松本の地に根付いてオルガンの世界を耕し、ソロからアンサンブルまで幅広く演奏活動を展開する山田さんが、オルガンと最も相性が良いといっても過言ではないトランペットとの共演を披露してください。トランペット奏者の山本英助さんは、長年にわたってオルガンとの共演をご自身の演奏活動の中心にされてきた方！オルガンの特性や可能性、魅力を熟知された山本さんと、山田さんが生み出す演奏は必聴です！プログラムは、オルガンのレパートリーとしては珍しい古典派時代のモーツァルトの作品から、近現代の作曲家エーベンによるトランペットとオルガンのためのオリジナル作品まで。時代を超えて色彩豊かな音色を放つオルガンの「パイプ」たちに、華やかなトランペットの響きが立体的に浮き上がります。シリーズ始まって以来初のオルガンと金管楽器とのコラボレーション。お客様お一人おひとりが、真っ白なキャンパスいっぱいに想い思いの色を重ねるような作品たちを、ぜひ会場で楽しんでください。

(パルナソスホールオルガニスト 長田真実)



山田由希子 © 山田毅



山本英助

9月28日(日) 14:00～

パルナソスホール

一般 2,000円、高校生以下1,000円(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

9月13日(土) 10:30～

パルナソス 朝のハーモニー No.254

日本歌曲と古典音楽の世界

出演/石川真子(ソプラノ)

小西聖香(ピアノ)

曲目/山田耕筰:唄

モーツァルト:アリア「不滅の神々よ、私は求めず」

モーツァルト:モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」ほか

パルナソスホール

500円(全席指定) ※3歳から入場できます。

問 パルナソスホール 079-297-1141

9月25日(木) 14:00～

懐かしの洋楽ヒットパレード 第30回
～大人にあこがれて聞いたメロディ～

姫路キャスパホール

800円(全席指定)

※リクエストの締切は8月22日(金)必着です。

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

10月16日(土) 13:00～

懐かしの名作映画 in CASPA

「ガス燈」(114分/1944年製作/米)

姫路キャスパホール

800円(全自由席)

※友の会割引特典は対象外です。

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

11月8日(土) 15:00～

大和ハウスSpecial

クリスティアン・ティーレマン指揮

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

曲目/シューマン:交響曲第3番 変ホ長調

作品97「ライン」

ブラームス:交響曲第4番 ホ短調

作品98

アクリエひめじ 大ホール

S席45,000円、A席40,000円、B席35,000円

C席30,000円 ※残席わずか

D席完売(全席指定)

※友の会割引特典は対象外です。

問 パルナソスホール 079-297-1141

11月22日(土) 14:00～

ピアノシリーズ Vol.3

務川慧悟 ピアノリサイタル

曲目/ベートーヴェン:

ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調

Op.27-2「月光」

ピアノソナタ 第32番 ハ短調

Op.111 ほか

パルナソスホール

一般3,000円、高校生以下1,000円

(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

12月6日(土) 14:00～

池辺晋一郎芸術監督シリーズ
音楽をのぞいてみよう！

第10回 ハイドン

出演/池辺晋一郎(お話)

小曲俊之(トランペット)

石川未央(ヴァイオリン)

清水 咲(ヴァイオリン)

保井花子(ヴィオラ)

宮之原陽太(チェロ)

佐渡春菜(ピアノ)

曲目/オール・ハイドン・プログラム

トランペット協奏曲 変ホ長調 より

第1楽章

弦楽四重奏曲 第67番「ひばり」より

第1楽章 ほか

パルナソスホール

一般2,000円、高校生以下1,000円

(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

◎特に記載のない催しは未就学児入場不可

◎内容が変更となる場合がございます



HYOGO ebooks

「文化情報 姫路」は県内の自治体広報誌や観光ガイドブックなどが閲覧できる「HYOGO ebooks」で配信しています。スマートフォンなどからご利用ください。

Coming Soon

今月発売開始

パルナソス 朝のハーモニー No.255 チェンバロコンサート



辛川太一

出演／辛川太一(チェンバロ)
曲目／J.P.スウェーリンク:「緑の菩提樹の下で」SwWV 325
J.S.バッハ:パルティータ 第6番 ホ短調 BWV 830
C.P.E.バッハ:ヴェルデンベルク・ソナタ 第1番 イ短調
Wq.49/1 ほか

10月11日(土) 10:30～

パルナソスホール

500円(全席指定) ※3歳から入場できます。

一般発売日 8月6日(水) 財団友の会 8月4日(月)

問 パルナソスホール 079-297-1141

音楽のまち・ひめじ 0歳からの 歌とフルートとピアノのコンサート



童謡や手遊びうた、クラシックなどを演奏する、親子で楽しめるコンサートです。

出演／中西麻梨(ソプラノ)、北野麻里子(フルート)、
横谷静美(ピアノ)

10月22日(水) 11:00～

姫路キャスパホール

500円(全席指定) ※0歳から入場できます。

発売日 8月8日(金)

※友の会特典は対象外です。

問 姫路市文化国際交流財団 制作チーム
079-289-1108

お申込みは
こちらから



第28回 姫路パルナソス音楽コンクール 受賞者演奏会



大屋 響



松蔭さとり



松蔭ひかり



村上真璃南



大谷内 映



大同理紗



米満希咲来

6月に開催された同コンクールで上位入賞を果たした7名が出演します。若き才能が一堂に会する一期一会の音楽の競演をお楽しみください。

出演／弦楽器部門:大屋 響(ヴァイオリン・第1位)、松蔭さとり(ヴァイオリン・第2位)、
松蔭ひかり(チェロ・第3位)、村上真璃南(チェロ・第3位)

ピアノ部門:大谷内 映(第1位)、大同理紗(第2位)、米満希咲来(第3位)

10月19日(日) 14:00～

パルナソスホール

1,000円(全席指定)

一般発売日 8月29日(金) 財団友の会 8月27日(水)

問 パルナソスホール 079-297-1141

姫路市文化国際交流財団からのお知らせ

令和7年度(下期)文化活動支援

姫路市内を主な活動の本拠とする団体・個人が市内で行う文化・芸術等の活動を対象に、助成金を交付します。※審査があります。

助成対象事業の実施予定日／10月1日～2026年3月31日

申請期間(郵送のみ受付)／8月8日(金)まで ※必着

問 振興チーム 079-289-1101

チケットのお求めはこちらから▶

◎特に記載のない催しは未就学児入場不可
◎内容が変更となる場合がございます



文化 姫路
情報

8月号 Vol.461 発行 姫路市

編集 姫路市文化国際交流財団

〒670-0836 姫路市神屋町143番地2
TEL.079-289-1108 FAX.079-289-8181
(平日10:00～17:00)

情報をお寄せください「文化情報 姫路」は姫路市内で開催されるコンサート、舞台、展覧会などの情報を中心に掲載しています。催しのタイトル・日時・料金・問合せ先を、開催月から2カ月前の15日(10月開催なら8月15日)までに、お気軽にお寄せください。



最新情報は
姫路市文化国際交流財団の
ホームページで!



姫路市文化国際交流財団 友の会
会員募集中
年会費1,000円 会員期間1年間

